

内閣府 予算監視・効率化チームの  
上半期(4～9月)活動状況について

平成22年11月16日

内閣府

## (1) チームリーダーによる上半期取組総評

公開プロセスを含む行政事業レビューに関しては、外部有識者及び各事業分野担当政務官の参画を得て、チームにおいて所見を取りまとめ、そのレビュー結果を平成23年度概算要求に反映させ、1,112億円の削減を行うことができた。

また、執行関係に関しては、第1四半期における予算の執行状況及びその情報開示等について、内閣府本府予算監視・効率化チーム第2回会合において、外部有識者から民間の視点に立った意見を聴取しながら検証・審議を行った。

## (2) 外部有識者による上半期取組コメント

- 今後は、問題点として挙げられた事柄について、スケジュール管理を行いながら検討を行ない、速やかに実行に移すことが肝要。については、その鍵を握るのは職員自身の意識・モチベーションであり、本施策を進めることについて職員へのインセンティブの付与を併行的に展開していくことが必要と思う。  
同様の趣旨で、効率化が叫ばれる中であって実質的に時間とコストの浪費にさえ見える「国際入札」の実態について政治主導で改善を図ることも有効と思われる。(石堂先生)
- 行政事業レビューについて、単なる無駄の削減だけではなく、内閣府全体のミッション設定の中で、当該事業がどのように位置づけられ、どのような目標設定がされるかべきか、またその目標達成のためにどのような事業内容とすべきかについて、官自ら創意工夫を行うメカニズムが必要であり、そのようなメカニズムが現実に機能するためのインセンティブをPDCAサイクルの中に組み込むことが今後重要である。(小林先生)
- 今般の予算監視・効率化チームの取組みは国民への説明責任の観点から重要と考える。課題としては「政治主導の徹底」「政策評価との連携」「共通課題の洗い出し」などを指摘したい。「政策評価との連携」では事後検証に耐えうる実績・成果に関する説明の一層の充実、日頃の評価活動が重要である。また、「共通課題の整理」では、入札の透明性や実質的競争性の確保、総合調整機能の発揮を含む内閣府の責務の再整理、終了事業に関する成果検証等が重要である。(南島先生)
- 行政事業レビューについて、これまでの事業の作り方、その運営の方法について問題を指摘するという意味では有効。また、内閣府そのものの役割、政府(各府省・内閣)内における役割について考えさせられる事柄が多かった。ただし、内閣府側の説明ぶりの巧拙によって、必要な事業でも説明が稚拙な場合にはマイナス評価、説明が巧みであれば必要以上の良い評価が下される可能性がある。(山谷先生)

### (3) 予算監視・効率化の推進体制

- チームリーダー 末松副大臣
- サブリーダー 園田政務官
- チーム事務局長 大臣官房長
- チームメンバー 総括審議官、政策評価審議官、官房総務課長、官房人事課長、官房会計課長  
官房企画調整課長、官房政策評価広報課長、沖縄総合事務局総務部長、宮内庁主計課長
- 外部有識者 石堂 正信 ((株)JR東日本リテールネット常務取締役(財務部長))  
國廣 正 (国広総合法律事務所 弁護士)  
小林 麻理 (早稲田大学大学院公共経営研究科教授)  
南島 和久 (神戸学院大学法学部准教授)  
山谷 清志 (同志社大学政策学部・大学院総合政策科学研究科教授)

### (4) 平成22年度予算執行計画の公表日と掲載場所

平成22年4月30日公表

掲載アドレス: [http://www.cao.go.jp/yosan/kanshi\\_korituka/index.html](http://www.cao.go.jp/yosan/kanshi_korituka/index.html)

### (5) 予算監視・効率化チーム定例会合の開催状況

- 第1回会合 平成22年4月27日  
主な議題: 平成22年内閣府本府予算執行計画(案)について、行政事業レビューについて
- 第2回会合 平成22年8月25日  
主な議題: 平成22年内閣府本府予算執行計画の進捗状況について、行政事業レビュー所見の決定について

### (6) 支出負担行為又は支出に関する計画の進捗状況

(i) 計画立案対象経費: 「庁費」、「旅費」、「調査費」、「補助金等」

(ii) 進捗管理の上期実施状況

#### ① 上期の取組・進捗状況

第1四半期の支出負担行為計画に係る実績を作成した上で、第2回予算監視・効率化チームの議題として、外部有識者から民間の視点にたった意見を聴取しながら検証・審議を行った。また、第2四半期の支出負担行為計画に係る実績については、11月26日に予定している第3回予算監視・効率化チームでの議題とする予定である。

#### ② 上期進捗状況実績表: 別添のとおり

(iii) 開示の対応状況

第1四半期の支出負担行為計画は内閣府HPに掲載済、第2四半期の支出負担行為計画は、第3回予算監視・効率化チーム終了後、内閣府HPに掲載予定

#### (7) 予算執行上の重要な決定等についての事前審査

今後、予算監視・効率化チームにおいて、事前審査対象の範囲、方法等について検討予定

#### (8) 国民の声の受付・対応

##### (i) 受付体制の整備状況

平成22年7月から内閣府HPIにて受付開始

掲載アドレス：<https://form.cao.go.jp/kanshi-koritsuka-team/opinion-0003.html>

##### (ii) 上期受付状況

受付件数：2件 内容：予算監視・効率化チーム対象外の意見

##### (iii) 開示の対応状況

平成22年度の受付状況を取りまとめた段階で開示予定

#### (9) 予算執行の効率化等に向けた職員参画向上等の取組み

- 内閣府各部署の会計担当職員を対象に、効率的な予算執行、事務能率の向上を図るための「会計実務研修」を実施
- 予算執行の監視・効率化の取組みに資する意見の募集及び職員の意識・モチベーション向上のための方策について第3回予算監視・効率化チームにおいて検討予定

#### (10) 予算要求への反映状況

行政事業レビュー点検結果を踏まえ、内閣府全160事業中、82事業について「廃止」、「改善」を行い、平成23年度概算要求において、1,112億の削減を行った。

※「内閣府行政事業レビュー点検結果の平成23年度概算要求への反映状況」  
掲載アドレス：[http://www.cao.go.jp/yosan/kanshi\\_korituka/review\\_22.html](http://www.cao.go.jp/yosan/kanshi_korituka/review_22.html)

#### (11) 「予算執行の情報開示充実に関する指針」に基づく開示状況

「予算執行の情報開示充実に関する指針(平成22年3月31日 内閣官房国家戦略室)に盛り込まれた事項については、内閣府HPIに掲載  
掲載アドレス：[http://www.cao.go.jp/yosan/kanshi\\_korituka/information.html](http://www.cao.go.jp/yosan/kanshi_korituka/information.html)

## (12) その他の取組み

内閣府本府が行う入札及び契約の過程並びに契約の内容の透明化を確保する「内閣府本府入札等監視委員会」、内閣府本府における政策評価の実施について政策評価の質の向上及び客観性確保を図る「内閣府本府政策評価有識者懇談会」のメンバーが内閣府本府予算監視・効率化チームの一員として参画することにより、問題意識の共有を行った上で、総合的な取組みを行っている。

## (13) 予算執行計画を含む、予算監視・効率化の取組み全体の自己評価

内閣府本府予算監視・効率化チーム第2回会合において、予算執行計画の進捗状況や各種取組みの実施状況、今後の見通しについて報告し、外部有識者を交えてチームとして議論することにより、自己評価を実施し、予算の効率化が進んでいることを確認した。